

授業科目名	簿記論Ⅰ（国際商経・専門科目）	（英語名）	Bookkeeping I (J)（国際商経・専門科目）
科目区分	専門教育科目 国際商経学部	対象学生	国際商経学部
単位数	2単位	開講年次・学期	1年次・前期 2年次・前期
担当教員	沼智博	所属	非常勤講師
授業の形態	講義	関連するSDGs目標	
オフィス・場所	授業前15分 教室 授業後10分 教室前	連絡先	沼智博 hyogokendai_boki@mail.o-hara.ac.jp

対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【学部・研究科】	DP1 本学部で提供される経済学、経営学、及びそれに関連する領域に関する専門知識を有し、それを活用して分析する能力を身につけている
対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【全学DP】	
対応する教職課程の学修目標		

講義目的・到達目標	<p>【講義目的】</p> <p>簿記とは、企業活動を帳簿に記録することにより、企業の経営成績や財政状態を明らかにするものです。</p> <p>簿記を学習することで、企業の状況を把握することができるばかりか、数字で物事を考える力がつき、就職後に大変役立つ知識です。</p> <p>ビジネスマン必須の知識である簿記を習得していく授業です。</p> <p>一般企業に就職してから役立つことはもちろんのこと、公認会計士・税理士受験のための基礎知識にもなります。</p> <p>この講義は簿記2級レベルの商業簿記を学習します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>① 一般企業が行う取引の基礎から応用までを仕訳で処理することができる。</p> <p>② 財務諸表作成までの一連の流れを把握し処理することができる。</p> <p>③ 連結会計の基礎について理解し、連結財務諸表を作成することができる。</p>
授業のサブタイトル、キーワード	簿記、会計学
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】</p> <p>本講義は、購入したテキストを使用し進めていきます。第2回目講義より必ず購入して参加するようにして下さい。</p> <p>テキストの詳細については、初回講義で説明致します。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 総論、収益と費用 3. 棚卸資産① 4. 棚卸資産② 5. 現金預金 6. 債権債務等 7. 有価証券① 8. 有価証券② 9. 有価証券③ 10. 有価証券④ 11. 固定資産① 12. 固定資産② 13. 固定資産③ 14. 固定資産④ 15. 問題演習 <p>※学生の理解度により変更する可能性があります。</p>
テキスト	「ALFA2級課程 商業簿記」(テキスト・ドリル・アンサー)大原簿記学校簿記Ⅰの教材として計3冊がパッケージしてある教材を購入してください。

	後期簿記Ⅱ(担当：沼)においても同じ教材を使用します。
参考文献	なし
事前・事後学習（予習・復習）の内容・時間の目安	事前学習は必要なし。 1講義あたり2～3時間の事後復習が必要である。
アクティブ・ラーニングの内容	該当しない。
成績評価の基準・方法	【成績評価の基準】 講義目的を理解した上で、以下の成績評価の方法を基準として到達目標に最低限以上に達したと判断できる者に対して単位を授与します。 【成績評価の方法】 定期試験等70%、課題提出等30%で評価します。
課題・試験結果のフィードバック方法	必要の応じて、UNIVERSAL PASSPORTにてフィードバックする。
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定3級の基礎知識を有していること。 ・毎回電卓を使用するので持参すること。 ・後期の簿記論Ⅱ(担当：沼)の講義とセットで簿記2級レベルの商業簿記を学習しますので、後期も継続して履修すること。 ・本講義の内容は、3級の学習を終えている方を対象とした講義です。一つひとつをしっかりと理解しながら学習を進めて下さい。もしわからないところが出てきたら、その都度質問して解消していくようにしてください。
実践的教育	該当しない。
備考	※本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓生から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金にもとづいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。